

ニュースリリース

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

2010年9月7日

メガネなし3Dディスプレイにも対応したアミューズメント用ゲーム基板「SYSTEM BOARD Y3」を開発中。

株式会社エスアイエレクトロニクス(本社:東京都千代田区、以下エスアイエレクトロニクス)は、メガネなし3Dディスプレイにも対応した最新のアミューズメント用ゲーム基板「SYSTEM BOARD Y3」を開発中であることを発表します。

また、「SYSTEM BOARD Y3」を、9月9日から10日まで千葉県幕張メッセで開催される「第48回アミューズメントマシンショー」加賀アミューズメント株式会社ブースに出展し、初公開します。

「SYSTEM BOARD Y3」は、エスアイエレクトロニクスが開発中のアミューズメントゲーム機用のシステム基板です。独自に開発した画像処理用ASIC「Y3」を搭載することで、フルハイビジョンにも対応する画像処理性能と、コンパクト化、低価格化を実現します。

近年、よりリアルな画像を望む声が高まり、家庭用テレビの技術進化と相まって、アミューズメントゲーム機のディスプレイも高解像度化が進みました。今後は家庭用テレビの新しいトレンドになりつつある3D(立体映像)も、アミューズメントゲーム機に採用される動きが出てきております。

現在、3D(立体映像)の技術は、メガネを使って左目、右目に入る画像を分離する「メガネ方式」が中心です。メガネ方式は個人使用には向くものの、公共性の高いアミューズメントゲーム機の市場からは、場所を選ばず、より汎用性の高い、メガネを使わない方式を望む声が強くなっています。

メガネなし3D方式は、左目、右目の画像が同時に表示され、ディスプレイに施された視差バリアやレンズなどの光学系で分離し、左右それぞれの目へ別々の画像が見えるようになっています。メガネなし3Dディスプレイメーカー各社がさまざまな方式の光学系や、光学系に適した画像表示方法を採用しております。

「SYSTEM BOARD Y3」は、画像処理用ASIC「Y3」により、どのようなメガネなし3Dディスプレイにも対応します。アミューズメントゲーム機のみならず、デジタルサイネージ端末、インフォメーション端末、展示会、イベント用などにも使用可能なシステム基板として、開発を進めています。

エスアイエレクトロニクスは「エンターテインメントの世界を広げ、人々に感動を。」をスローガンに、今後ともアミューズメント産業の発展のために貢献してまいります。

■SYSTEM BOARD Y3の概要（予定）

CPU	PowerPC 800MHz
メモリ	DDR2-800 1GByte
グラフィックス	2D描画 : 最大18億 pixel/sec ポリゴン描画 : 最大10億 pixel/sec ムービー再生 : フルハイビジョン動画対応
サウンド	32ch再生
メディア	未定
入出力	ビデオ : アナログ D-Sub 15pin x 2 サウンド : ステレオ2ch RCAコネクタ ゲームI/O : JAMMAコネクタ、JVS I/Oコネクタ シリアル : 1ch GPIO : 16ch その他I/O搭載

■会社概要

会社名 株式会社エスアイエレクトロニクス
 英文会社名 SI ELECTRONICS LTD.
 住所 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル
 設立年月日 1992年4月
 資本金 24,400万円
 代表取締役社長 山田 順久
 事業内容 アミューズメント機用の画像表示関連装置の開発、設計、製造及び販売等
 URL <http://www.sie.co.jp/>

株式会社エスアイエレクトロニクスは、加賀電子グループのグループ企業です。
 主にアミューズメント向けグラフィックスシステムのハードウェア、SDKを開発・製造・販売
 しています。
 アミューズメント機器向けに専用開発した画像表示用ASICを採用し、高品位な3DCG表示やムー
 ビー再生を実現。専用SDKによるアプリケーションソフト開発の効率化や、システムトータルで
 の低コスト化に注力し、お客様の利益拡大に貢献する企業を目指しています。

■お問合せ

株式会社エスアイエレクトロニクス
 事業開発室 戸崎健司
 TEL : 03-4455-3268
 webmaster@sie.co.jp